

1 1 就農体験談

雇用就農編

千葉市の農園に就職しました！

千葉市 小松田 裕史さん



小松田さんは非農家出身ですが、幼いころの家庭菜園やテレビ番組の影響を受け農業に興味を持ち、千葉県立農業大学校に入学。卒業時に初めから独立就農するかどうかを悩んだ結果、まずは安定した収入を得ながら経験・スキルを身に付け、人脈も得られる雇用就農に魅力を感じ、農園に就職しました。

令和4年9月から勤めている東秀農育株式会社の農園「ふあいんファーム」では令和6年度から農園長を任され、栽培品種の拡大やこどもたちへの食育をはじめとした農業のことを知ってもらふ場所づくりなどに奔走しています。

●会社に入って感じた事

現在勤める農園の社長は農家出身で、これまでの経験から農業の大変さ、特に開園当初の課題にも深い理解を示してくれます。具体的な課題としては、作物の栽培技術を習得し確立するまで長い時間を要することや、販売先を見つけることの難しさなどです。社長は失敗に寛大で、それを糧に次の挑戦に生かしていくことや、やってみたいと相談したことにどんどん挑戦させてくれる環境がここにはあります。収入を得ながら挑戦や経験ができ、いろいろな方と繋がりも作れるのは雇用就農の良さであり、非農家出身の私にはとても恵まれた環境だと思っています。猛暑の中での作業は大変なことが多いですが、ネギ嫌いの子がうちのリーキは食べられたと嬉しい言葉をいただくこともあり、誰かに影響を与えられる農業の面白さも感じながら日々働いています。

●担当している仕事

いちご、ブルーベリーの栽培管理、農園長としてスタッフのシフト調整・採用などの人事関係、POP・チラシ作り、イベントの企画やこどもたちに親しんでもらえるよう「さつまいもの妖精 おいもマン」に扮するなど、幅広い業務を担当しています。



●今感じている課題、目標

課題は、今の収入源はいちご狩りだけなので、今年から始めるブルーベリー狩りをはじめ観光農園としての収入源を増やしていくことです。1年を通して野菜などの農産物の販売もしていきたいと考えています。

また、いろいろな人に遊びを通して農業に興味をもってもらえるような観光農園のテーマパークをつくりたい！野菜嫌いのこどもを千葉県から無くしていきたい！という想いがあるので、それに向けてできるところから頑張っていきます。

●雇用就農を目指す方へ

実際働いてみると、つらい、汚い、きついことを実感しますが、その分大きなやりがいもあります。まずは独立志望の方もそうでない方も、農業をしたいと考えている方はローリスクで経験が積めて、人脈づくりもできる雇用就農から始めてみるのがおすすめです。



求められるものを作り、応えていきたい！

市原市 花見 健太郎さん



元サラリーマンの花見さんは、地元市原市の里山団体等の活動で若い人がいないことを知り、地元で活気を取り戻したいと思い模索する中で、自身に障害があるため時間の自由が利く農業が向いているのではと考え、露地野菜で就農することを決めました。実家には農地があったものの親は農業に関わっておらず、地域の先輩農家、県の普及指導員やJAのアドバイスを参考に、何度も試行錯誤を重ね、栽培技術を身につけていきました。

自分のペースで農業と向き合いながら、人との繋がりを大事にし、地域に根差しつつ、新しいことにも積極的に挑戦を続けています。

●就農時に苦労したこと

この地域は水稻が盛んで露地野菜の代表品目がなく、品目を決めるのに悩みました。そのため、JAから提案された品目はとにかくなんでも作ってみました。しかし、研修をせずに就農したため、技術や知識不足から満足に野菜を育てられず、収穫まで至らないことが何度もありました。さらに、一反（約10a）規模での栽培も初めてで、栽培管理や販売の全体像がつかめず、何をどうすればいいのか全く分からない状態になりました。規模を大きくすれば経費が増えるが売上を確保するまでの技術もなく、その不安から規模拡大に踏み込めずにいました。

また、土地探しでは地域には田ばかりで畑が少なく、遊休農地の田を借りて自らショベルカーで水を抜く水路を掘り、土を入れて畑にする作業が大変でした。

●現在の経営について

現在「はなファーム」ではいろいろな品目を栽培していますが、主にブロッコリーを3ha、きゅうりを30a栽培しています。地元の小さな直売所から始めた販売先は、普及指導員から紹介された農家と知り合ったことにより、大手スーパーとの取引にも広がりました。収量の安定に課題はあるものの、就農8年目にしようやく軌道に乗り始めたと感じています。

経営は私と妻、短時間勤務の近隣の大学の女子サッカー部員も含めたパート14名で行っており、全員が一緒に参画している意識を持ってもらえるよう、やってもらう仕事を限定せず、収支まで情報を隠さず共有し、みんなが働きやすい環境づくりを大切にしています。

●今後の展望について

取引先に安定して商品を届け、売上をのばしたいです。現在の取引先に加え、新たに飲食店から加工用野菜が欲しいと要望を受けていますが、自社の生産量だけでは足りません。そこで、生産体制を整え安定した量を確保できるように知り合いの農家に参加を呼びかけています。加工用は選別・出荷の手間が少なく効率的なので、今後はこうした出荷も増やし売上に結びつけたいです。今後はみんなが持ち寄れる加工用野菜の「生産組合」を立ち上げたい。若い世代から地域を盛り上げ、この地を守り次世代へつないでいきたいと思っています。

●新規就農を目指す方へ

こだわりすぎず、人の話に耳を傾け取り入れること、目だけでなく視野を広く持ってチャレンジしてもらいたいです。また、私が人との繋がりで販売先が広がっていったこともあり、人との繋がりは大切にしたいと思っています。さらに、独立前に研修を受け、自分に合う作物を見つけることをおすすめします。雇用就農で農業の厳しい部分を含め、実態を学ぶのもいいと思います。



非農家からの挑戦 雇用から独立へ

山武市 大館 秀純さん



東京都出身の大館さんは、幼いころの家庭菜園で野菜を育てる楽しさと自分で作った野菜の美味しさを知り、農業に関心を持ちました。その後分子生物学の研究職に就きましたが、子どものころから抱いていた農業への道を実現すべく、数年間資金を貯めながら 40 代でインターネットで見つけた埼玉県農業法人で農業研修を受講、いろいろ見聞きする中でネギ栽培に可能性を感じ、雇用就農を経て農地中間管理機構から紹介された山武市で令和元年に独立就農しました。

今では大館さんの人柄や仕事に取り組む姿が地域からの信頼を得て、規模拡大に向けて研究職時代に培った科学的な視点や仮説検証力をもとに、順序立てて考え、工夫しながら農業に取り組んでいます。

●就農時に苦労したこと

一番苦労したのは作業場の確保でした。畑を借りてから約2年間は作業場が見つからず、アパートで一人で出荷作業の皮むきをしていたので出荷量が上がりませんでした。二番目は栽培技術・管理です。雇用就農で3年ほどネギ栽培に携わり、任される作業をこなして一連の流れを分かったつもりでしたが、実際に自分でやると連作障害や排水対策など、やってみないと分からないことが次々として出てきて大変でした。周りの農家に聞いたりしながら解決しましたが、技術と経験不足、判断時の責任の重さを痛感しました。また、令和6年に補助金を使ってネギ掘り機を導入したことで一日当たりの出荷量が1.5倍に増え、作業も楽になりましたが、今思えば補助金制度も、もっと早く知っていればよかったなと感じています。

●現在の経営について

長ネギ専作で年間55aを栽培し、全量をJAに出荷しています。根や葉を取るなどの出荷調製作業を近所の方一人にパート従業員としてほぼ通年で手伝ってもらっていて、時々、80代のおばも手伝ってくれ助かっています。規模を拡大している割には資材費の高騰もあり収益が思うように出ていないのが課題ですが、今後、今よりも機械操作に慣れることで作業効率があがり、出荷量も2倍にあがると見込んでいます。

●今後の展望について

経営をより安定させるため、規模の拡大とともに雇用の増加を目指します。作業を任せられる人を増やし、畑の管理も含めた体制を整えることで、働く人が無理なく仕事をできる環境をつくりたいです。また、将来的には法人化も視野に入れており、経営を安定させながら、後継者育成の土台づくりも進めたいと考えています。さらに、今後販路を広げていく中で、他の農家の取り組みを参考にしながら、輸出にも挑戦したいと思っています。

●新規就農を目指す方へ

研修と自己資金の準備はしたほうがいいです。

研修は短期間でなく、2年ほど雇用就農して実際に現場で働き、技術の習得と体力的にも自分が農業に向いているかを知ることがとても大切です。現場では作業だけでなく、雇用先によっては経営の流れも学べます。自己資金は、思い描く農業をするために必要です。また、資金の有無に関わらず、積極的に補助金制度を活用することをおすすめします。





日本全国に農業村をつくっていききたい！

千葉市 山下 大輝さん

山下さんは元々独立志望で、自分には泥臭い仕事が向いていると考えていたことや、ビジネス経験のあった環境分野に関わる会社をつくろうと考えた結果、農業に注目し、その道に進むことを決めました。そして千葉県立農業大学校に入学。卒業後に現在の農地を紹介してくれた千葉市で小松菜等の有機野菜などを生産・販売する「株式会社M o W G (モーグ)」を立ち上げ、農業を通して環境問題や日本の過疎化などの問題に取り組むこと、将来的には全国に農業により自立した村を作ること为目标に、日々農業に向き合っています。

●就農時に苦労したこと

1. 栽培技術の習得：有機葉物を作ろうと思ったときに経験はなく、周りにも栽培している人がいなかったため、インターネット等で情報収集をして独学で学ぶ必要があり、最初は失敗続きでした。
2. 販売先の獲得：自分で見つけていくしかなかったため、販売先を探すのに苦労しました。契約に繋がらなかった場合には、どうしてダメだったのか原因をきちんと把握し、次に繋げられるようにスタッフにも伝えています。
3. 農業資材の調達：なるべくコストを抑えようと思うと、自分で一つ一つ選定して探す必要があり、また、遠くの方まで買いに行かなければいけないことも大変でした。
4. 人手確保：求人を出すと応募はあるものの、実際働いてみるとなんとなく農業をやってみたいと応募した人たちは現実とのギャップに辞めていく人もいました。最近では面接時に現場の実情を伝え、また仕事を体験してもらった上で採用するようにしたことで、離職率は低くなりました。



●現在の経営について

法人化して3年目ですが、ようやく軌道に乗ってきて、これからどんどん規模を拡大していく段階に入ってきたかなと思っています。経営規模の拡大に際し、千葉市で農地を紹介してもらいハウスの増設もしています。一方で、拡大に際し、いい人材をどのように確保していくのか、どのように農業未経験の人を育てていくのかというのが現在の経営課題です。

●今後の展望について

私たちの最終ミッションは、若い世代に農業の魅力を伝え、彼らが成長し新しい農業を開拓して全国に広げていくことです。全国各地で過疎化や農村の荒廃が進んでいるという現状の中で、しっかり農業の担い手を育て地方に送り出し、農業できちんと収益が出るようにしていく農業村を作っていききたい。そして農業だけでなく、自然エネルギーや古民家再生、高齢者の生活支援など、その場所にある課題に対しても向き合い取り組んでいきたいと考えています。そのためには、農業とビジネスをしっかり教育して農家でもきちんとお金を稼げる人材を育成することが大事だと思っています。

●新規就農を目指す方へ

農業は農家さんの数だけ答えがあると思うのでどんなスタイルかは自分にあった物を選べば良いと思いますが、自分が農業で何をを目指すのか、目標を明確にしてから始めることが重要だと思っています。「農業って楽しい」や「楽だ」という感覚だけで始めるのは絶対にやめた方がよく、具体的な目標を持ち、その実現方法をじっくり考えることが大事だと思います。



1 2 新規就農に係る相談窓口

就農希望地域が未定・就農全般について相談したい・雇用就農を検討している

① 【総合相談窓口】

千葉県農業者総合支援センター ☎ 0800-800-1944（フリーアクセス）
 千葉市中央区本千葉町 9-10 千葉県 JA 情報センタービル 1F
 ホームページ：<https://support.chiba-agri.com/farmer/about/>
 問合せ：お電話又はホームページ内のお問合せフォームよりご相談ください



② 千葉県農林水産部担い手支援課 就農支援班 ☎ 043-223-2904

千葉市中央区市場町 1-1 千葉県庁本庁舎 17 階
 ホームページ：<https://www.pref.chiba.lg.jp/ninaite/soudan/shuunou.html>
 問合せ：お電話でご相談ください



③ 公益社団法人千葉県園芸協会 ☎ 043-223-3008

千葉市中央区市場町 1-1 千葉県庁南庁舎 9 階
 ホームページ：<https://www.chiba-engei.or.jp/>
 問合せ：お電話又はメール（sanchisc@chiba-engei.or.jp）でご相談ください



④ 一般社団法人千葉県農業会議 ☎ 043-223-4480

千葉市中央区市場町 1-1 千葉県庁南庁舎 9 階
 ホームページ：<https://chinokai.com/>
 問合せ：ホームページ内のお問合せフォームよりご相談ください



就農希望地域が決まっている・就農計画の相談をしたい・親元就農を検討している

- | | |
|--|------------------------------------|
| ① 千葉 農業事務所 ☎ 043-300-1985
(千葉市・習志野市・市原市・八千代市) | 千葉市緑区大金沢町 180-1
千葉県農林総合研究センター気付 |
| ② 東葛飾 農業事務所 ☎ 04-7143-4121
(市川市・船橋市・松戸市・野田市・柏市・流山市・我孫子市・鎌ケ谷市・浦安市) | 柏市高田 990-1 |
| ③ 印 旛 農業事務所 ☎ 043-483-1129
(成田市・佐倉市・四街道市・八街市・印西市・白井市・富里市・酒々井町・栄町) | 佐倉市鎭木仲田町 8-1 |
| ④ 香 取 農業事務所 ☎ 0478-52-9192
(香取市・神崎町・多古町・東庄町) | 香取市佐原イ 92-11 |
| ⑤ 海 匝 農業事務所 ☎ 0479-62-0156
(銚子市・旭市・匝瑳市) | 旭市二 1997-1 |
| ⑥ 山 武 農業事務所 ☎ 0475-54-1122
(東金市・山武市・大網白里市・九十九里町・芝山町・横芝光町) | 東金市東新宿 1-11 |
| ⑦ 長 生 農業事務所 ☎ 0475-22-1751
(茂原市・一宮町・睦沢町・長生村・白子町・長柄町・長南町) | 茂原市茂原 1102-1 |
| ⑧ 夷 隅 農業事務所 ☎ 0470-82-4956
(勝浦市・いすみ市・大多喜町・御宿町) | 夷隅郡大多喜町猿稻 472-2 |
| ⑨ 安 房 農業事務所 ☎ 0470-22-7131
(館山市・鴨川市・南房総市・鋸南町) | 館山市北条 402-1 |
| ⑩ 君 津 農業事務所 ☎ 0438-25-0107
(木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市) | 木更津市貝渕 3-13-34 |



ちばの大地で農業を始めたい人の手引書—令和7年度版—

発行 令和7年8月

編集 千葉県

農業経営・就農支援センター（千葉県）

〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1-1

電話 043-223-2904

本冊子は、「農業経営・就農支援体制整備推進事業」を活用して作成しました。